

皆さんの尊い生命と財産を守る

消防団は地域の防災リーダー

消防団は市内各地区に設置され、消防署と連携を図りながら、地域を守るために日々活動しています。これから冬にかけては、空気が乾燥し、暖房など火を取り扱う機会も多く、1年のうちでも火災の起こりやすい季節です。そこで、皆さんの生命と財産を守るために地域に密着して活動する消防団をご紹介します。

自分の地域は自分で守る

火災や災害は時と場所を選ばず、突然私たちに襲いかかってきます。このようないつ発生するか分からない災害に備え、市が実施する防災訓練に参加したり、救命講習会を受講するなど、家庭や地域でも防災に関する意識が高くなっています。また、市内自治会の約半数にあたる58の自治会で自主防災組織が編成され、情報・消火・避難誘導・救出救護・給食給水などの班を作り、災害発生時に自分たちの地域内で被害の発生・拡大につながる可能性のある場所や援助の必要な高齢者や障害者などの地域の情報に気を配り、万一に備えています。

火災が発生したときの初期消火や災害時の応急処置、地域で組織的に避難する体制作りなどは、被害を最小限に食い止めるためにとても重要なことです。さらに、これらは安全に行われなくてはなりません。万一

■ 1年間の主な活動

- 4月中旬 新入団員入団式
- 8月初旬 七夕まつり警戒
- 8月下旬 防災訓練
- 10月中旬 ポンプ操法大会
- 11月下旬 消防団特別点検
- 12月下旬 歳末特別警戒
- 1月初旬 消防出初式
- 1月初旬 地域防災訓練
- 1月初旬 文化財防火デー防火訓練
- 2月中旬 消防団家族慰安会
- 春季・秋季 火災予防運動

このほか、各分団で定期訓練を行い、技能の熟達に努めるとともに、気象警報発令時に警戒活動を実施するなど、災害を未然に防ぐために、地域を守る活動をしています。

の際に地域を守るため、皆さんの先頭に立ち、消防署と力を合わせて速やかに消火活動や救助活動にあたるのが、消防団です。

消防団の活動

消防団の起源は、江戸時代の町火消といわれ、自分たちの地域は自分で守る「郷土愛護の精神に基づき、火災をはじめ地震・風水害などの災

害が起きたときには地域に密着して住民の生命と財産を守ってきました。平成7年1月に発生した阪神・淡路大震災以後、市民から消防や防災に大きな関心が寄せられ、地域の防災のリーダーである消防団と、地域住民が一体となって行う防災活動の重要さがあらためて認識されました。

また、今年も各地で地震や火山の噴火、大雨による河川のはらんなどの自然災害が発生しています。特に大規模災害発生時には被害も大きくなるのが予想され、消防署だけでは対応しきれない部分もあり、地域の事情に詳しい消防団の活躍が生かされてきます。このように、火災のみならず、いつ起こるか分からない

災害に即時に対応するため、消防団員は日ごろから各種訓練や警戒活動を行っています。

皆さんの尊い生命と財産を守るために

現在消防団は、団本部のもと7つの分団で編成され、団長以下324名の団員が地域に密着した防火・防災活動を実施しています。団員は農業、自営業など地域の事業者のほか、事業所に勤務する、いわゆるサラリーマン団員も多くなっています。そして、各地区で災害などが発生した際には即時対応できるよう、ボランティア精神に基づく自分たちの活動



狹山市消防団長
河井 芳 昭

日ごろ、消防団に対し格別なご支援とご協力を賜り、心からお礼申し上げます。狹山市消防団は現在7個分団、324名で活動しています。ご承知のとおり、非常備消防の私たち消防団員は本業を別に持ち、毎月数回の車両点検、器具点検および訓練を行い、火災

が発生すればいち早く現場に駆けつける消防組織です。今年も全国で大きな災害が発生し、それぞれの地域で活躍している消防団に寄せられる期待が大きき報道され、その重責をあらためて痛感しています。

私たち消防団員は長い歴史と伝統に培われ、諸先輩がたの防災の心を大切に郷土愛護の精神で市民皆さんの安心と安全な地域づくりのため、消防本部と密に連携を密にし、一致協力してより一層消防団活動にまい進いたします。皆さんのご協力をお願いします。

■ 狹山市消防団役員連絡先一覧

団本部	団 長	河井 芳 昭	☎952 - 2655
	副 団 長	平本良太郎	☎952 - 2819
		本 木 茂	☎956 - 0770
		水 村 明 宏	☎957 - 5169
第1分団	担当地区	入間川地区および狹山台地区の一部	
	分 団 長	宮 木 義 則	☎952 - 2227
	副分団長	島 村 孝 章	☎959 - 3549
第2分団	担当地区	入間川地区	
	分 団 長	井 上 好 史	☎954 - 1469
	副分団長	三 上 卓 延	☎952 - 2565
第3分団	担当地区	入間地区	
	分 団 長	本 橋 信 介	☎959 - 2555
	副分団長	中 嶋 満	☎958 - 5505
第4分団	担当地区	堀兼地区および狹山台・新狹山地区の一部	
	分 団 長	諸 口 栄 一	☎952 - 5022
	副分団長	小 澤 俊 夫	☎959 - 8682
第5分団	担当地区	奥富地区および新狹山地区の一部	
	分 団 長	栗 原 保 男	☎954 - 5995
	副分団長	山 崎 忠 洋	☎953 - 1694
第6分団	担当地区	柏原地区	
	分 団 長	岩 崎 勝 彦	☎952 - 2456
	副分団長	小 谷 野 憲 造	☎955 - 1319
第7分団	担当地区	水富地区	
	分 団 長	近 藤 博 彦	☎952 - 2635
	副分団長	宮 野 守 郎	☎952 - 2440



8月に行われる防災訓練では、分団ごとに各地区の会場に参加し、地域のかたや消防署員と一緒に訓練を実施します

に自信と誇りを持ち、日々取り組んでいます。

市では、消防団の活動能力を高めるため、消防団車両、車庫など施設の充実を図っています。さらに、団

員が消火時に安全に活動できるよう燃えにくい生地を使用し、明るいブルーを基調とした作業服を今年の8月から採用しています。

若い力が求められています

「地域の役に立ちたい」、「自分の力を何かに生かしてみたい」と思っているかた、日ごろの消防団活動を見たいかたは左表の役員に連絡するか、活動日に直接地域の消防団の車庫にお出かけください。消防団は皆さんの参加をお待ちしています。

● 問い合わせ

消防総務課へ ☎953・7112